

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」
の実現に向けて

～令和5年度予算概要～
(わかりやすい予算説明書)

未来へ躍動

賑わい創出予算



岡谷市インスタグラムフォトコンテスト2022 最優秀賞
t1y4m_cielo さんの作品

長野県 岡谷市

令和5年度予算概要

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて

～未来へ躍動 賑わい創出予算～

市民の皆様には、それぞれのお立場で、また、さまざまな場面でまちづくりにご参加、ご協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

令和5年度は、第5次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年度となることから、前期5ヶ年の総仕上げと、後期基本計画の5年間を見据え、基本目標の達成に向けた取組みを着実に進める年となります。

総合計画の将来都市像であります

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向け、

- ともに支え合い、健やかに暮らせるまち
- 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- 安全・安心で、自然環境と共生するまち
- 快適な生活を支え、住み続けたいまち
- みんなで作る、確かな未来を拓くまち

この6つの基本目標を柱に、これまでの取組みを基盤として必要な改革・改善を行い、さらなる発展に向けた各種施策を積極果敢に実施し、将来を見据えた確かなまちづくりを推進してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の状況やウクライナ情勢等を起因とする原油価格・物価の高騰や不安定な為替状況など、先行きが不透明な状況が続いていることから、引き続き、市民の日常生活を守るとともに、企業活動を支える取組みを切れ目なく講じていかなければなりません。一方で、地方移住に対する関心の高まりや人々の意識・行動に大きな変化などが生じていることから、「仕事があって、暮らしやすく、生活に彩りと潤い、そして楽しみがあふれるまち」をつくり上げることで、多くの人を惹きつけ、呼込んでいく必要があります。

そのため、令和5年度を「未来を見据えた躍動の年」と位置づけ、「活力と彩りの創造」、「未来に輝くひとづくり」、「穏やかで美しい日常の実現」の3つを予算の重点施策に掲げ、「移住・定住の促進」及び「ゼロカーボンの推進」など喫緊の政策課題に対する施策には特に注力し、「未来へ躍動 賑わい創出予算」として編成いたしました。

あわせて国が策定した「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づく補正予算を有効に活用し、本市でも令和4年度補正予算による前倒しと、令和5年度当初予算を一体とした「14か月予算」として、各種事業を積極的に展開してまいります。

令和5年度予算の着実な執行により、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人々に活躍の場や生きがいがあり、生活に彩りと潤い、楽しみがあって、幸せを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市を市民の皆様とともに創り上げてまいります。

市民の皆様には引き続き、まちづくりへ積極的にご参加をいただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

岡谷市長 今井 竜五

目次

01

予算の基礎知識Q & A…………… 1

02

一般会計予算の状況…………… 3

03

令和5年度予算の
6つの基本目標と主な事業…………… 8

○ともに支えあい、健やかに暮らせるまち…………… 8

○未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち……10

○人が集い、にぎわいと活力あふれるまち……………12

○安全・安心で、自然環境と共生するまち……………15

○快適な生活を支え、住み続けたいまち……………18

○みんなでつくる、確かな未来を拓くまち……………20

●令和5年度 計画策定事業……………21

04

参考資料…………… 22

予算の基礎知識 Q&A



Q. そもそも「予算」ってなあに？

A. 予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。



新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのための支出（使うお金）がどのくらい必要なのかを見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。なお、市の予算においては、収入のことを歳入、支出のことを歳出といいます。



Q. どうやって岡谷市の予算を決めるの？

A. 市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって成立します。



市のそれぞれの担当部署は、市民の意見や要望を聞き、「1年間の行政サービス」を検討します。その後、担当部署の案について庁内全体で協議・検討を重ねたうえで、市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会は、提出された予算案を事業内容や実施体制などの様々な面から審議したうえで議決（議会の意思決定）をします。



Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。



市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や豪雨などの自然災害などにより、緊急にお金を使わなくてはならないときは、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提出し、審議したうえで議決を受けます。この予算のことを「補正予算」といいます。



Q. 予算はなんのために必要なの？

A. 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。



予算は、歳入と歳出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うために、予算を作成することが必要になります。

また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になるのです。



Q. 何を目標として予算を作るの？

A. 総合計画で定めた基本目標を達成するため、
予算を作成します。



令和5年度は、第5次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年度となります。この総合計画に掲げた6つの基本目標を達成するため、3つの重点施策を掲げ予算を作成しました。

第5次岡谷市総合計画に掲げる将来都市像

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」

ともに支え合い、健やかに暮らせるまち

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

安全・安心で、自然環境と共生するまち

快適な生活を支え、住み続けたいまち

みんなで作る、確かな未来を拓くまち

◆6つの基本目標◆



<令和5年度 3つの重点施策>

活力と彩りの創造

未来に輝くひとづくり

穏やかで美しい日常の実現

Q. 令和5年度の岡谷市の予算規模は？

A. 一般会計 : 218億円 (前年度比 16億1,000万円増)
特別会計等 : 57億6,080万円 (前年度比 4,110万円減)
企業会計 : 134億55万円 (前年度比 4億1,922万円増)



【一般会計 : 218億円】

教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計です。主な収入は、市税、地方交付税、国・県支出金などです。

【特別会計等 : 57億6,080万円】

特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計と切り離して、その収入・支出を経理する会計です。

・国民健康保険事業特別会計 :	44億4,700万円	・地域開発事業特別会計 :	2億8,540万円
・分収造林事業特別会計 :	3,850万円	・霊園事業特別会計 :	25,400万円
・温泉事業特別会計 :	1,890万円	・後期高齢者医療事業特別会計 :	9億4,390万円
・湊財産区一般会計 :	1,700万円		

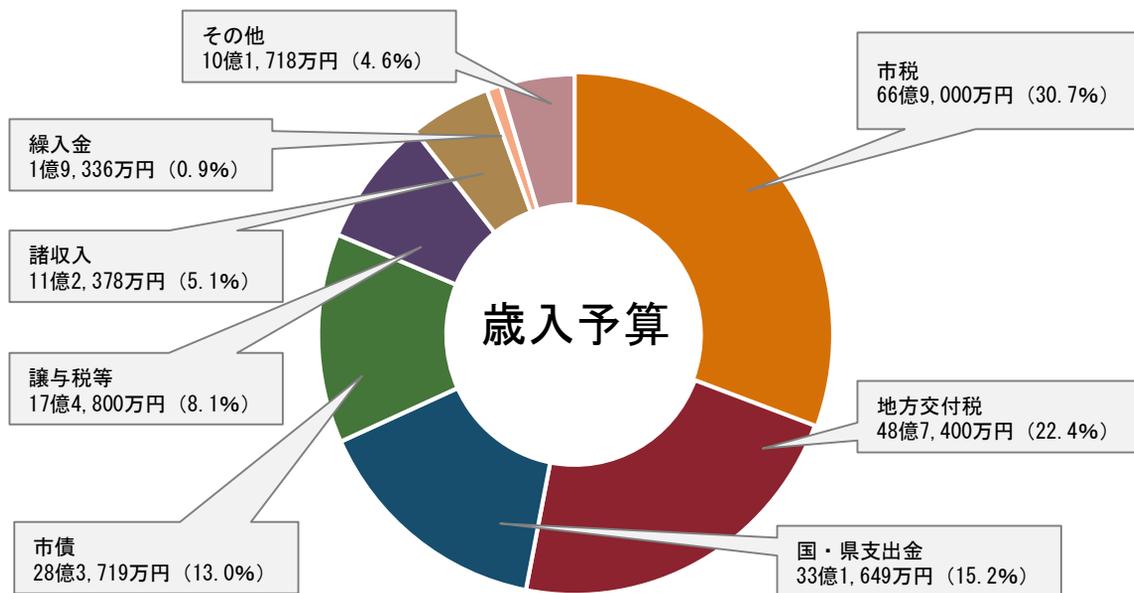
【企業会計 : 134億55万円】

水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の3つの企業会計があり、民間企業と同じように、それぞれの事業で収益をあげて運営しています。

・水道事業会計 :	21億1,078万4千円	・下水道事業会計 :	29億6,860万6千円
・病院事業会計 :	83億2,116万円		

一般会計予算の状況

歳入予算 218億円



市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など	
地方交付税	全国で一定の行政サービスが行えるよう国から交付されるお金	
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	
市 債	公共施設の整備等に伴い金融機関等から借りるお金	
譲 与 税 等	国税として徴収された税をもとに地方公共団体に譲与されるお金	
諸 収 入	他の科目に分類されない収入で、延滞金や実費徴収金など	
繰 入 金	市が積み立てた基金（貯金）を取り崩してまちづくりに使うお金	
そ の 他	使用料及び手数料	公共施設の使用料や、住民票などの発行手数料
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じ負担していただくお金
	財産収入	財産の貸付け、売り払いなどにより得るお金

～市税収入の状況～

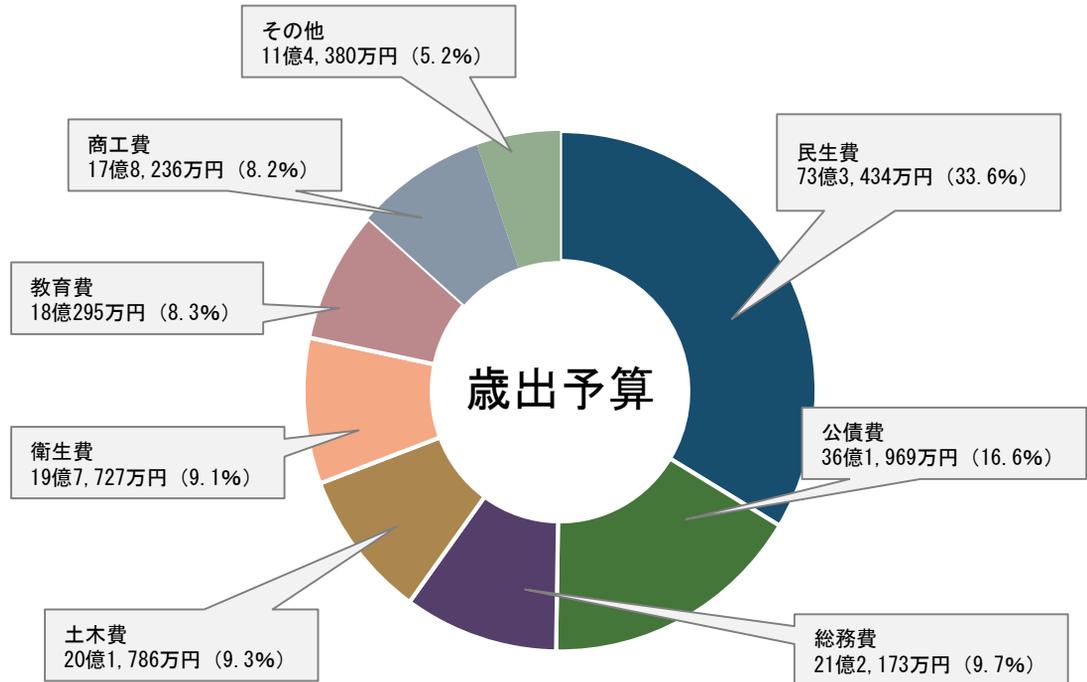


歳入の30%以上を占める市税は、前年度比1億7,200万円の増となっています。

個人市民税は、これまでの新型コロナウイルス感染症の影響を考慮するなかで、個人所得で増加が見込まれることから増収を見込んでいます。

固定資産税は、新增築家屋分は増える見込みとなりましたが、土地は依然として地価下落が続き、償却資産も既存設備の減価償却や先端設備の導入に対する特例措置による減等もあり、全体では減収を見込んでいます。

歳出予算 218億円



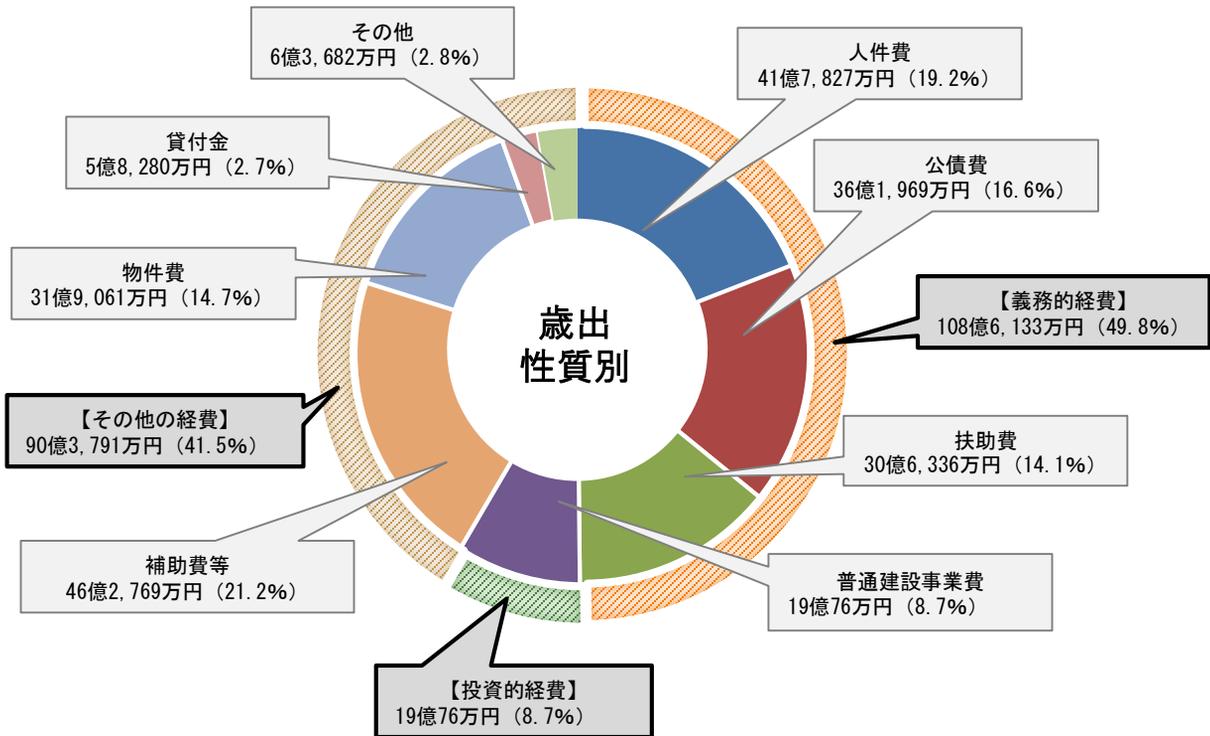
第5次岡谷市総合計画に掲げた将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、事業の選択と集中を進めるなかで、限られた財源（収入）を効率的、効果的に予算を配分しました。

令和5年度の重点施策である「活力と彩りの創造」、「未来に輝くひとづくり」、「穏やかで美しい日常の実現」に基づき、民生費や土木費、総務費等に係る様々な施策を展開してまいります。

民 生 費	障がい者や高齢者、子育てなどに使うお金	
公 債 費	市債（借金）の返済に使うお金	
総 務 費	市の運営や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などに使うお金	
土 木 費	道路や橋、公園、市営住宅などに使うお金	
衛 生 費	保健や環境・衛生の向上、病院への繰出金などに使うお金	
教 育 費	小中学校、図書館、体育館などの管理運営に使うお金	
商 工 費	工業や商業、観光の振興に使うお金	
そ の 他	議 会 費	市議会の運営に使うお金
	労 働 費	雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
	農林水産業費	農業、林業などの振興・管理・整備に使うお金
	消 防 費	消防や救急、消防団の活動などに使うお金
	災 害 復 旧 費	被災箇所の復旧に使うお金
	予 備 費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使うお金

歳出の性質別内訳は次のようになっています。

歳出を経済的な性質を基準にして分類したものが、次のグラフです。
この分類は、全国のどこの市町村も同じ基準で分類しています。



内側の円の8つの性質(=下表)は、それぞれ外側の円の“3つ”に大別されます。
人件費と扶助費、公債費を合計したものが「義務的経費」と呼ばれています。これは必然的に歳出しなければならない要素を持っているからです。
普通建設事業費や災害復旧事業費は、「投資的経費」と呼ばれ、社会資本(道路・橋りょう・公園・学校等)の整備に要するものです。
それ以外は「その他の経費」と呼ばれています。

人件費	市長や議員などの特別職と一般職員に支払われる報酬や給料	
公債費	市債の返済に使う経費	
扶助費	高齢者や障がい者等の施設入所や生活保護などの福祉的な経費	
普通建設事業費	道路や学校などの建設事業に使う経費	
補助費等	各種団体などへの補助金や負担金	
物件費	事務に必要な経費や光熱水費、委託料など	
貸付金	預託金など直接現金の貸付けを行うための経費	
その他の	維持補修費	道路や施設の修繕、維持に使う経費
	積立金	基金(貯金)に積立てを行うための経費
	繰出金	他の会計へ支出するための経費
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使う経費

歳出を、市民ひとりあたりで計算すると…

令和5年度の一般会計予算は、218億円ですが、市民ひとりあたりの行政サービスの経費を計算してみました。

令和5年度一般会計予算 218億円

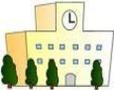
市民ひとりあたり
468,600円

令和5年1月1日現在の人口 46,524人

令和5年度の一般会計予算（218億万円）を人口（46,524人）で割ると、市民ひとりあたり約468,600円の行政サービスを受ける計算です。

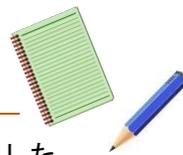
一方、これに対して令和5年度の市税66億9,000万円を同様に人口で割ると、市民ひとりあたり約143,800円の負担をいただいていることとなります。

468,600円の内訳

<p>市議会の運営経費</p>  <p>4,100円</p>	<p>市役所などの運営</p>  <p>79,100円 (33,500円)</p>	<p>福祉・子育てに</p>  <p>159,400円 (1,800円)</p>
<p>環境衛生の向上に</p>  <p>45,300円 (2,800円)</p>	<p>雇用の確保・拡大</p>  <p>1,900円</p>	<p>農業などの振興に</p>  <p>5,000円 (100円)</p>
<p>産業振興の充実に</p>  <p>39,400円 (1,100円)</p>	<p>道路などまちづくり</p>  <p>51,000円 (7,600円)</p>	<p>消防・救急体制に</p>  <p>14,000円 (1,300円)</p>
<p>教育の充実に</p>  <p>46,000円 (7,200円)</p>	<p>借金の返済に</p>  <p>22,400円 ※各目的に分類されない、 その他の財源補てん的な 市債の返済</p>	<p>緊急時の備え</p>  <p>1,000円</p>

※ () 内市債（借金）の返済額

予算を、一般家庭の家計簿に例えると…



岡谷市の令和5年度の一般会計予算を一般家庭の1ヶ月あたりの家計に例えてみました。
6ページの市民ひとりあたり468,600円を基準としています。

収入

	給料	189,825円
市税	うち基本給	143,804円
使用料・手数料等	うち諸手当	46,021円
地方交付税等	パート収入	142,343円
国・県支出金	親からの仕送り	71,289円
繰入金	貯金の取崩し	4,156円
市債	金融機関からの借入	60,987円
	合計	468,600円

使用料・手数料等：使用料及び手数料、分担金及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入
地方交付税等：地方交付税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、
法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

支出

人件費	食費	89,814円
物件費等	光熱水費	70,168円
扶助費	医療費	65,848円
補助費等	仕送り	99,474円
普通建設事業等	住宅増改築費	40,857円
公債費	借金返済	77,807円
積立金	貯金	432円
貸付金等	その他雑費	24,200円
	合計	468,600円

物件費等：物件費、維持補修費
普通建設事業費等：普通建設事業費、災害復旧事業費
貸付金等：投資及び出資金、貸付金、繰出金、予備費

令和5年度予算の主な事業

(※「14か月予算」のため、一部に令和4年度補正予算を含んでいます。)



基本目標

ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

少子高齢化が進むなかで、社会保障などの福祉施策の充実が重要な課題となってきました。市民の皆様一人ひとりが、将来にわたって健康で快適に、豊かな生活を送ることができるよう、出会いや結婚、妊娠期からはじまるライフステージに合わせた切れ目ない支援を通じて、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりを推進します。

【拡充】「おかやでスタート!」結婚新生活支援事業

5,500千円

結婚に伴う経済的不安を解消するため、新婚世帯の住居費及び引越に必要な経費の一部について、対象要件を拡充して支援を行います。

拡◇対象世帯：夫婦共に40歳未満かつ世帯所得500万円未満の新婚世帯
【400万円⇒500万円】

◇対象経費：婚姻に伴う新規の住宅取得費用・住宅賃貸費用、引越費用、住環境に要する経費（リフォーム費用等）

拡◇上限金額：1世帯合計60万円（30歳未満）【30万円⇒60万円】
1世帯合計30万円（30～39歳）



【新規】出産・子育て応援給付金事業

68,184千円

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援の充実を図るとともに、経済的支援を一体的に行います。

◇伴走型相談支援

全ての妊婦及び主に0～2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象とした相談体制の充実を図るため、新たに専門保健師等を配置します。

◇出産・子育て応援給付金

令和4年4月以降妊娠・出産した産婦等の経済的負担を軽減するため、現金給付を行います。

妊娠届出時：5万円 赤ちゃん訪問時：5万円 合計：10万円



【新規】新生児聴覚検査費助成事業

1,944千円

聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、早期発見・早期療育を目的として、新生児聴覚検査費の助成を行います。

子ども発達支援センター事業

16,268千円

西堀保育園に併設した「岡谷市子ども発達支援センター」において、発達に困難を抱える子どもとその家族に寄り添った療育支援を行います。

ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

【拡充】子ども家庭総合支援拠点事業

5,792千円

子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、子ども家庭総合支援拠点機能として、子どもとその家庭に関する実情把握、情報提供、調査指導、その他必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整を一体的に行います。令和5年度は虐待防止等のため、新たに心理担当支援員を配置します。

【拡充】子ども医療費給付事業

161,253千円

子育て世代の経済的支援を充実させ、子どもの医療費負担を心配せずに安心して医療を受けることができるよう、1医療機関につき1ヵ月の窓口負担を500円としている対象年齢について、現在の15歳から18歳まで拡充します。



【新規】医療的ケア児等コーディネーター配置事業

513千円

医療的ケアを日常的に必要とする児童等の適切な支援体制を整備するため、障がい者総合支援センターオアシスに業務委託し、医療的ケア児等コーディネーターを1名配置します。

【新規】地域医療介護総合確保基金事業補助金

38,634千円

「第9次岡谷市高齢者福祉計画」及び「諏訪広域連合 第8期介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の実情に応じた介護サービス体制の整備に対して補助を行います。

◇地域密着型サービス等整備助成事業

◇介護施設等の施設開設準備経費等支援事業

【新規】がん治療アピアランスケアサポート事業

1,000千円

がん患者の治療に伴う外見等の変化における苦痛の軽減を図り、社会参加しやすい環境を整えるため、補整具等の購入費用を助成します。

◇対象：①頭髪補整具（ウィッグ、装着ネット等）

②乳房補整具（補整パッド、補整下着、人工乳房、専用入浴着） ③その他（エピテーゼ）

◇補助額：購入費用額の1/2（上限額：2万円）

諏訪湖ハイツ整備事業

15,600千円

利用者が快適に利用できる安全安心のコミュニティ施設環境を整備するために、「あいとぴあ」と共同していた非常用電源装置の設置工事を行います。

基本目標

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち



高度情報化・国際化、ライフスタイルの変化など、目まぐるしく変化する社会情勢に対応するべく、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした良質な学習環境の整備が求められています。

すべての人が、住み慣れたまちで生きがいのある快適な生活を送ることができるよう、「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」を掲げ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進します。

【新規】川岸学園設立準備事業

1,000千円

川岸学園構想（川岸小学校及び岡谷西部中学校を一体とする義務教育学校を設立し、公立の幼保連携型認定こども園を併設する）の実現に向けて、教育委員会内に新たに「川岸学園設立準備室」を設置し、先進事例の研究、関係機関との調整、基本計画の策定等を行います。

(R4補正)【新規】学校施設バリアフリー化事業 (岡谷田中小学校整備事業)

53,500千円

障がいのあるなしに関わらず子どもたちが安心して学べるようエレベーター及び身障者対応多目的トイレを整備します。



(R4補正)安全で快適な学習環境整備事業 (学校トイレ洋式化)

26,200千円

安全で快適な学習環境を整備するため、市内小中学校のトイレの洋式化を計画的に実施します。令和5年度は岡谷北部中学校のトイレ洋式化を行います。

【拡充】外国語授業支援強化事業

34,742千円

新学習指導要領に基づく外国語教育の強化に対応するため、外国語指導助手（ALT）を5名から7名に増員します。

【新規】部活動地域移行推進事業

4,172千円

部活動の地域移行を推進するため、検討組織を立ち上げ研究を進めるほか、部活動指導員を増員し、地域の担い手となる人材を確保します。

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

【新規】学校給食食材費高騰臨時対策事業

13,878千円

コロナ禍における保護者負担の軽減と学校給食の質と量を確保するため、物価高騰の影響により値上げ改定する給食費の値上げ分を公費負担します。

【新規】市史編さん準備事業

9,431千円

新たな市史編さんを行うため、生涯学習課内に新たに「岡谷市史編さん準備室」を設置し、市史編さん方法等の検討、基本方針（案）の作成、既刊の「岡谷市史上・中・下巻」のPDFデータを構築します。

【新規】第82回国民スポーツ大会・ 第27回全国障害者スポーツ大会推進事業

マンパワー事業

令和10年（2028年）に開催される第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の内定競技となっている卓球競技、諏訪湖周2市1町共同開催となるトライアスロン競技の実施に向け、準備委員会及び実行委員会立ち上げのための準備と情報収集を行います。



スポーツ施設整備事業

103,645千円

スポーツ施設の老朽化、スポーツニーズの変化などに対応するため、計画的な施設整備を行います。令和5年度は市民水泳プールの大規模改修工事などを行います。

【新規】美術考古館開館10周年記念事業

3,578千円

岡谷美術考古館の移転開館10周年を記念し、特別企画展の開催と考古図録の作成を行います。

【新規】旧渡辺家住宅保全事業

7,695千円

長野県宝に指定されている旧渡辺家住宅を長期に渡り保全するため、2か年計画で茅葺屋根の葺替え、中門や土間の修繕を行います。

岡谷市文化会館大規模改修事業

20,500千円

文化会館としての機能を適正に維持するため、大ホールセンターピンスポット及び電話設備の更新工事を行います。

人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

基幹産業である製造業を軸とした「産業振興の推進」に向けて、企業誘致に向けた取組みをはじめ、既存企業の活性化や雇用の維持・拡大を進めます。また、商業・観光・農林業など産業全般にわたり多くの施策を展開し、就労の確保と人口の減少に歯止めをかけ、強い財政基盤の構築と活力のあるまちづくりを推進します。



★ゼロカーボンの推進

【拡充】新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業 14,400千円

市内製造業の新製品、新技術の創出等に必要な経費の一部について支援を行います。

- ◇一般枠 対象経費：新技術の開発又は新製品の創出に係る費用
補助額：補助率1/2以内、上限額150万円 【拡充】グリーン成長事業 上限額200万円
- ◇開発試作枠 対象経費：従業員10名未満の企業を対象に、試作開発にかかる取組に要する経費
補助額：補助率1/2以内、上限額30万円 【拡充】グリーン成長事業 上限額50万円

★ゼロカーボンの推進

【新規】カーボンマネジメント支援事業補助金 20,000千円

市内製造業が取り組む温室ガスの排出量の把握及び管理、排出量削減に寄与する設備投資に必要な経費の一部について支援を行います。

- ◇対象経費：温室効果ガスの把握に要する費用
温室効果ガスの排出削減が図られる設備への更新に要する費用
再生可能エネルギーを自社用の電力として使用するための設備の設置等に要する費用
- ◇補助額：補助率1/2以内、上限額100万円

【拡充】DX推進デジタル化ツール導入等支援補助金 3,000千円

市内製造業の生産性向上や新たな受注開拓、業務効率化を図るためのデジタル技術を活用した新たな取り組みに必要な経費の一部について支援を行います。新たに、IT人材の育成等に係る経費を対象とします。

【新規】小型ロケットをキーとした信州大学との連携強化事業 10,000千円

信州大学諏訪圏サテライトキャンパスを活用し、市内企業の技術相談、新技術創出のためのリカレント教育等を行い、市内産業の活性化と持続的発展を図り、また、若年人材に向けたロケットワークショップを通じてモノづくり意識の醸成を図ります。

【新規】シェアオフィス管理事業 3,700千円

都市部企業を中心とした働き方の見直し、働く場の多様化への対応として、令和5年3月にオープンした「おかやシェアオフィス」を適正に管理運営し、創業支援、企業誘致を図ります。



人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

【新規】テクノプラザおかや大研修室照明LED化更新事業

★ゼロカーボンの推進
6,300千円

テクノプラザおかやの適正な管理及びゼロカーボンシティの実現に向けて、温室効果ガスの排出抑制のため、テクノプラザおかや大研修室の照明のLED化を行います。

商業等振興補助金

12,721千円

空き店舗の改修、既存店舗の改修及び賃借料の助成を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。

- ◇空き店舗改修補助
(補助率1/2以内 上限額50万円・60万円(飲食店))
- ◇既存店舗改修補助
(補助率1/2以内 上限額50万円)
- ◇賃借料補助 (補助率1/3以内 上限額25万円)
- ◇経営者サポート補助 (補助率1/2以内 上限額10万円)



【新規】省エネ農業推進事業補助金

★ゼロカーボンの推進
1,349千円

ゼロカーボンシティの実現を目指すため、燃油削減効果が高く、温室効果ガスの削減が期待できる農業用施設及び資材の活用に必要な経費の一部について支援を行います。

- ◇生分解性マルチ (補助率3/10)
- ◇園芸用資材 (パイプハウス及び暖房機等) (補助率2.7/10)

【新規】岡谷花火まつり負担金

200千円

50年以上の歴史を有する「岡谷花火まつり」を岡谷の新たな夏の風物詩となるようこれまでの伝統を引き継ぎつつ実施するため、岡谷花火まつり実行委員会へ負担金を支出します。

岡谷シルク推進事業

11,251千円

岡谷ブランドの核となるシルクの歴史と文化を伝承するとともに、シルクを活かした「岡谷ならではの」取組を推進し、新しいシルク文化の創造、シルク文化によるまちの活性化を目指します。

- ◇ブランド発信事業
岡谷シルク商標登録事業、岡谷シルクHP構築、教育プログラム開発・提供、岡谷蚕糸博物館WS指導員活用事業、岡谷シルク商品開発促進事業、展示会出展事業、シルク関連イベント事業
- ◇養蚕振興事業
岡谷産繭品質向上事業、養蚕体験事業、桑園等整備事業補助金
- ◇岡谷シルク体験ツアー
滞在型等WS事業、まちあるき事業、アーティスト・イン・レジデンス事業



人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

★移住・定住の促進

【新規】若者移住者住まいの支援事業

19,127千円

移住定住を促進するため、岡谷市へ移住した若者に対し、住宅取得や賃貸住宅の賃料に要する経費の一部について支援を行います。

◇住宅取得費補助

- 対象者：夫婦ともに40歳未満の者（独身の場合は本人）
令和8年3月31日までに住宅取得に関する契約を行った者等
- 補助額：住宅取得費補助 50万円（対象経費の1/10以内）
移住奨励金 20万円
30歳未満加算 30万円

◇家賃補助

- 対象者：学生又は勤労者（市内外の事業所に通勤する正規社員）で
市内の民間賃貸住宅に住む18歳以上30歳未満の単身世帯
- 補助額：月額賃料（管理費・共益費等を除く）の1/2以内
上限額1万5千円/月（連続する24ヵ月分）



★移住・定住の促進

【新規】移住定住促進事業

5,618千円

関係人口の創出等により移住定住の一層の推進を図るため、地域おこし協力隊を採用し、シティプロモーションを強化します。

★移住・定住の促進

【拡充】就業・創業移住支援事業

10,000千円

長野県と実施する共同事業として、市内企業等の担い手不足の解消及び移住の促進を図るため、三大都市圏のうち転入超過となっている都府県から移住した者に対し、予算の範囲内で「移住支援金」を支給します。

- ◇移住支援金
- ・2人以上世帯の場合 100万円/世帯
 - ・単身世帯の場合 60万円/世帯

【拡充】・18歳未満の帯同加算 100万円/人（30万円⇒100万円）

【新規】就業体験チャレンジ・インターンシップ強化事業

240千円

市内企業がインターンシップを積極的に実施・活用できるようにするため、大学との連携及びコンサル個別相談による体験内容のブラッシュアップ等を行い、市内企業の効果的なインターンシップ実施を支援します。

★移住・定住の促進

【拡充】UIJターンおかや総合サポート事業

6,067千円

市内企業の採用活動における競争力を強化しUIJターンの促進につなげるため、採用ブランディング（他社との差別化）に向けた支援を行います。

◇人結び採用チャレンジ応援補助金

【拡充】求人用HPの新設・改修、求人情報を含む企業HPの新設・改修

◇採用ブランディングに関するセミナー及び個別相談支援

基本目標

安全・安心で、自然環境と共生するまち



近年、国内外において様々な災害や環境に関わる問題が発生しており、市民の命や暮らしを守る取組が急務となっています。

本市においても、激甚化・頻発化する自然災害に対する防災・減災への備えを強化し、安全・安心なまちづくりを推進します。

また、二酸化炭素排出量の削減など地球温暖化対策を官民一体となって進め、ゼロカーボンシティとして、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

河川災害防止対策事業

60,000千円

良好な河川環境を構築し、流域住民の生命と財産を守り、安全・安心な住環境を実現するため、市が管理する普通河川の改修（河床整備、護岸改修等）を行います。

◇令和5年度事業実施河川

◀改修工事▶一の沢川、小洞沢川、又五郎川

◀設計委託▶待張川、桧山沢川

河川緊急浚渫推進事業

10,000千円

台風や集中豪雨による浸水被害を未然に防ぐため、堆積土砂や自生樹木によって河川の流下断面が阻害されている河川の浚渫を実施し、河川の流下能力を確保します。

◇令和5年度浚渫実施河川

本沢川、塚間川、大堀川、待張川、桧山沢川

【新規】河川維持補修事業

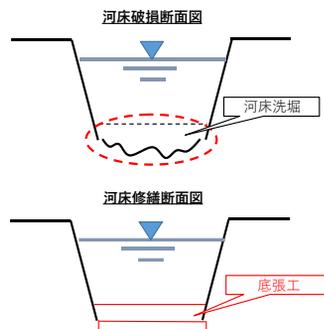
4,000千円

近年の異常気象により、老朽化している河川構造物（護岸や河床）が部分的に破損していることから、破損個所の維持修繕を実施し、災害の発生を未然に防止します。

◇令和5年度事業実施河川

常現寺沢川ほか9河川

河床修繕工



【新規】雨水渠接続事業

6,000千円

近年の気候変動等による豪雨の増加により頻繁に溢水している水路の溢水対策のため、市道10号線（十五社通り線）の道路排水の流末を雨水渠（山下幹線）へ切り替えます。

安全・安心で、自然環境と共生するまち

【拡充】空き家対策事業

4,171千円

増加する空き家の適正管理・除却・利活用等を推進するため、岡谷市空き家等対策計画に基づき、空き家バンク登録促進、不良住宅判定委託、不良住宅の除却に要する費用の一部助成、空き家バンクへ登録を促すための家財等の片付け費用の一部助成等を行います。

◇老朽危険空き家対策事業

◇空き家バンク活用促進

◇空き家家財等処分補助金【新規】

対象経費：空き家内外の残置物処理に要する費用

補助額：処分費用の1/2以内で、上限10万円

◇管理不全空き家に対する緊急安全措置事業【新規】

危険な状態にある管理不全空き家に対し、緊急的な対応を実施します。



★ゼロカーボンの推進

【拡充】蛍光灯型防犯灯LED化促進事業

1,200千円

夜間における安全・安心を確保するとともに、環境負荷の軽減を図るため、各区が行う蛍光灯型防犯灯のLED化に対して助成します。令和5年度は一部メニューの上限額を引き上げるとともに、既存LED灯具の改修に要する経費を新たに対象とします。

★ゼロカーボンの推進

【拡充】住宅用再エネ設備等導入促進事業

5,000千円

再生可能エネルギー設備及び電気自動車等の導入を促進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、災害時の非常用電源を確保するため、個人住宅に蓄電システムを導入する経費（太陽光発電システムと蓄電システムを同時に設置する場合に限る）及び電気自動車用充放電設備を導入する経費の一部を補助します。

◇蓄電システム導入補助金：対象経費の1/10以内（上限額10万円）

◇電気自動車用充放電設備導入補助金：対象経費の1/4以内（上限額10万円）



★ゼロカーボンの推進

【新規】市役所庁舎照明設備LED化等更新事業

77,000千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市役所庁舎へのLED照明器具の導入と照明制御システムの更新による適切な制御を行い、市役所庁舎の省エネルギー化を実現します。令和5年度は、1・2・6階を実施します。



安全・安心で、自然環境と共生するまち

★ゼロカーボンの推進

【新規】地球にやさしいEV車両導入促進事業

450千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、公用車両に環境負荷の少ない電気自動車を2台導入するほか、市役所庁舎敷地内に一般開放可能なEV車両用充電施設の整備を行います。

★ゼロカーボンの推進

【新規】各区公会所等照明設備LED化促進事業

3,000千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて、公会所等の照明設備のLED化を促進するため、LED照明の導入に要する経費の一部について支援を行います。

【新規】消防団員処遇改善対策事業

22,614千円

消防団員の処遇改善を図るため、団員の階級の者には年額36,500円を標準額とし、上位階級にある者等については標準額とバランスが取れた額となるよう年額報酬を改定します。

【新規】防災行政無線等デジタル化整備事業

1,500千円

緊急時の情報発信機能の強化と住民への情報伝達をより確実にしていくため、令和8年度の運用開始に向けて、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムを更新します。令和5年度は事業計画の策定や基本設計の作成等に関する委託業務を行います。



【新規】地域の防災力・減災力強化事業

マンパワー事業

自然災害が激甚化、頻発化する中、災害に強い安全で安心なまちづくりを実現するため、地域での防災訓練や啓発事業などを通じて、各区自主防災組織を中心とした住民及び地域の防災力・減災力の強化を図るとともに、地域間の連携をさらに深めることで市域全体の防災力・減災力の強化を図ります。

基本目標

快適な生活を支え、住み続けたいまち

地域の特性に応じた良好な市街地形成と居住環境の向上、地域の活性化を図るため、都市基盤や住環境の整備を進めるとともに、快適で住み続けたいまちづくりを推進します。



諏訪湖周サイクリングロード整備事業

13,000千円
令和4年度補正予算 41,400千円

「交通環境」、「健康・スポーツ・環境」、「観光振興」、「安全・安心」を整備の基本方針として、諏訪地域に住み、働き、集うすべての人々が、身近な交通手段として自転車を安全で快適に利用できるサイクリング環境整備を行います。令和5年度は市内区間のうち、塚間川から釜口水門までの整備工事を行い、令和5年度中の諏訪湖周全体の供用開始を目指します。



(仮称) 諏訪湖スマートIC整備事業

3,070千円
令和4年度補正予算 24,000千円

地域における観光振興及び産業発展等を図るため、スマートICの整備を行います。令和5年度は法面工事、舗装工事、安全施設工事等を行い、令和5年度中の供用開始を目指します。



地域幹線道路整備事業

59,500千円

地域幹線道路の機能強化と沿道環境の向上を図るため、長野県と連携し道路整備を推進します。
◇岡谷川岸線（新倉区）川岸工区：川岸小学校～観音橋
◇岡谷茅野線：本町3丁目～中央町1丁目

道水路等新設改良事業

208,000千円

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改築などを実施し、安全で快適な道路環境を構築します。

- ◇生活道路安全対策事業
- ◇通学路交通安全対策事業
- ◇道路後退整備事業
- ◇長地35号線整備事業
- ◇湊109号線改良事業
- ◇岡谷679号線改良事業（新規）
- ◇目切公園調整池機能強化事業



快適な生活を支え、住み続けたいまち

道水路維持補修事業

374,600千円
令和4年度補正予算 55,000千円

舗装の打換えなど計画的かつ予防的な維持修繕に取り組むとともに、側溝や擁壁等の構造物に対する維持修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図りつつ、安全で快適な道路環境を保持します。
◇計画的舗装修繕事業（社会資本総合整備交付金事業、緊急自然災害防止対策事業債）

都市公園施設長寿命化推進事業

48,300千円
令和4年度補正予算 36,000千円

公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新や改修、補修のほか、機能の再整備などを実施し、誰でも安全で安心して利用できる公園整備を推進します。令和5年度は岡谷湖畔公園のジョギングロード整備、バスケットゴール整備、四阿（あずまや）更新、鳥居平やまびこ公園サマーボブスレーのリフトワイヤー更新、蚕糸公園のイルミネーション設置等を行います。



【新規】川岸駅周辺環境整備事業（川岸駅開業100周年）

9,500千円

川岸駅開業100周年に伴う駅舎建替えにあわせ、駅前舗装やトイレ改修工事・駐輪場移設工事等の駅周辺環境整備を行うことで、駅利用者や地域住民が親しみを持てる川岸駅の利用促進を行います。
◇駅前舗装工事 ◇駅前公衆トイレ改修工事
◇駐輪場移設工事 ◇記念式典

【新規】シルキーバス利用促進事業

★ゼロカーボンの推進
マンパワー事業

環境に配慮したエコドライブに継続的に取り組む「岡谷市エコドライブ推進事業所」に対して、シルキーバス回数券を無料配布しシルキーバスを利用してもらうことで、地球温暖化対策とシルキーバスの利用促進を図ります。

水道施設再構築事業【水道事業会計】

910,000千円

安全・安心で安定的な水道水の供給を行うため、岡谷市水道事業基本計画（H27～R16）に基づく効率的な水の運用と危機管理体制の整備に向けて、12時間貯留可能な配水池を中心に、安全で強靱な水道施設の整備を図ります。令和5年度は片間町ポンプ場の本体築造工事のほか、横河川水管橋の設置等を行います。

（R4補正）下水道総合地震対策事業【下水道事業会計】

190,000千円

下水道総合地震対策計画に基づき、「防災」・「減災」を組み合わせた総合的な地震対策を推進するため、計画的に下水道施設の耐震化を進めます。令和5年度は、市内2小学校へのマンホールトイレ設置（神明小・湊小）のほか、市内医療機関や福祉施設等の下水道管路9箇所の耐震化工事を行います。

基本目標

みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

第5次総合計画に掲げた将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けて、各種施策を展開し、未来を見据えた確かなまちづくりを推進していきます。



旧岡谷市役所庁舎保全事業

3,612千円

旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、安全対策及び長寿命化対策による適正な保全を行います。令和5年度は耐震補強工事の実施設計を行います。



【拡充】ふるさと寄付金 寄附促進事業

60,000千円

市内事業所が取り扱う特産品等を返礼品として送付し、本市の知名度向上や岡谷ブランドの発信を行うとともに、地域産業の活性化を図ります。また、新たに、寄附金に関する事務や返礼品の磨き直し業務について委託を行い、本市の魅力発信やシティプロモーションを推進し、寄附件数・金額の増加を図ります。



高校生まちづくり会議

464千円

市民総参加のまちづくりを推進するため、将来岡谷市を担う高校生による「高校生まちづくり会議」を開催するとともに、全国高校生まちづくりサミットに参加し、まちづくり会議の活性化及び高校生の意識改革を行います。

自治体DX推進事業

15,555千円

デジタル技術やAI等の活用により、業務効率化を図るとともに行政サービスのさらなる向上を図ります。

- ◇スワンバスデジタル回数券等発行事業（再掲）
- ◇河川管理情報システム事業（再掲）
- ◇固定資産税管理システム更新事業（新規）
- ◇長野県入札・契約システムの共同利用化事業
- ◇市町村と県による協働電子図書館事業
- ◇市議会オンライン会議等環境整備事業（新規）



令和5年度 計画策定事業

◇第5次岡谷市総合計画後期基本計画策定事業◇

本市のまちづくりの指針を明らかにし、計画的な行政運営を推進するため、第5次岡谷市総合計画後期基本計画（令和6年度～令和10年度）を策定します。

◇(新)岡谷市行財政改革プログラム策定事業◇

第5次岡谷市総合計画を推進するための基盤となる行財政改革に取り組むため、新たな行財政改革プログラムを策定します。

◇第3期岡谷市教育大綱策定事業◇

教育、学術、文化、青少年の育成、生涯学習及びスポーツの振興に関する総合的な推進を図るため、第3期岡谷市教育大綱（令和6年度～令和10年度）を策定します。

◇男女共同参画おかやプランⅦ策定事業◇

男女共同参画社会の実現を目指すため、男女共同参画おかやプランⅦ（令和7年度～令和11年度）を策定する。令和5年度は市民意見の徴取として市民アンケートを行います。

◇岡谷市国土強靱化地域計画策定事業◇

令和5年度末で終了する現計画について、各施策の脆弱性の分析評価を実施し、また国ガイドラインや他の計画との整合性を図り、新たな岡谷市国土強靱化地域計画（令和6年度～令和10年度）を策定します。

◇第4次岡谷市健康増進計画策定事業◇

令和5年度に現計画が最終年度を迎える「第3次岡谷市健康増進計画」について、これまでの取組の進捗状況や課題を整理し、令和11年度までの次期計画の策定を行います。

◇福祉関係計画策定事業◇

令和5年度に現計画が最終年度を迎える「高齢者福祉計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」の3計画について、現計画を検証・評価し、各種統計や市民意見を参考に「地域福祉計画」との整合を図りながら、令和8年度までの次期計画の策定を行います。

◇第3期岡谷市子ども・子育て支援事業計画策定事業◇

子どもたちが明るく健やかにたくましく成長できるようにするため、第3期岡谷市子ども・子育て支援事業計画を策定する。令和5年度は保護者等を対象としたニーズ調査を実施します。

◇岡谷市工業活性化計画策定事業◇

岡谷市製造業の特徴や課題を具体的に把握し、市内企業が今後目指すべき新分野を見極めるための市場調査を行い、新たな工業活性化計画を策定します。

◇第2次岡谷市商業活性化計画策定事業◇

事業者意識や消費者動向に関する調査を実施し、アフターコロナを踏まえた商業活性化に資する施策等を推進するため、第2次岡谷市商業活性化計画を策定します。

◇地域公共交通計画策定事業負担金◇

地域公共交通活性化再生法の改正により、地域公共交通計画の策定が努力義務化されたため、持続可能な地域公共交通体系の構築を目指し、地域公共交通計画を策定します。

◇岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン後期計画策定事業◇

現計画の取組の成果や課題、教育をめぐる社会動向、本市における教育に関する現状を踏まえ、後期5か年計画（令和6年度～令和11年度）を策定します。

◇第4次岡谷市子ども読書活動推進計画策定事業◇

子どもの読書活動を推進するため、第4次岡谷市子ども読書活動推進計画（令和6年度～令和10年度）を策定します。

◇会計◇

・一般会計

地方公共団体の基本的活動(行政運営)を行うのに必要な歳入、歳出を経理する会計。

・特別会計

特定の事業や資金運用の状況を明確化するため、一般の歳入歳出と区分して経理する会計。本市では、岡谷市国民健康保険事業特別会計、岡谷市地域開発事業特別会計、岡谷市分収造林事業特別会計、岡谷市霊園事業特別会計、岡谷市温泉事業特別会計、岡谷市後期高齢者医療事業特別会計を条例で定めています。

・企業会計

地方公営企業法の全部又は一部が適用される公営企業の会計。本市では、岡谷市水道事業会計、岡谷市下水道事業会計、岡谷市病院事業会計が該当します。

◇地方交付税・財政規模◇

・地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわずに、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために、国税のうち、所得税、法人税、酒税及び消費税のそれぞれ一定割合及び地方法人税の全額を、国が地方公共団体に対して交付する税。地方交付税には、普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付する特別交付税があります。普通交付税は、基準財政需要額が基準財政収入額を超える地方公共団体に対して、その差額(財源不足額)を基本として交付されます。

・臨時財政対策債

地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債。通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計から交付税特別会計への繰入による加算(臨時財政対策加算)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされています。

・基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、各行政項目ごとに、次の算式により算出されます。【単位費用 × 測定単位 × 補正係数】

・基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算出されます。【標準的な地方税収入 × 75/100 + 地方譲与税等】

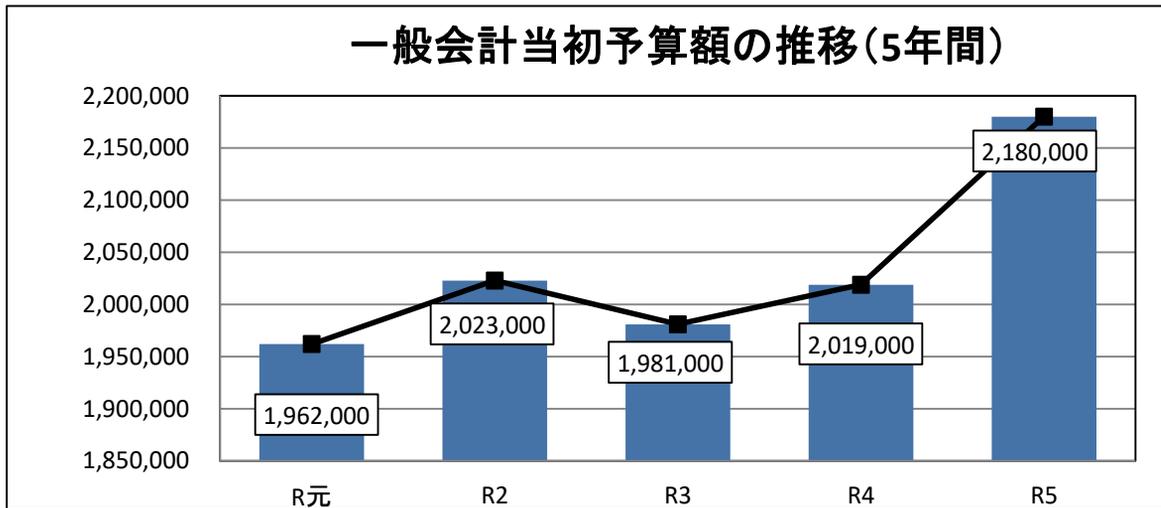
・標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。

・財政力指数

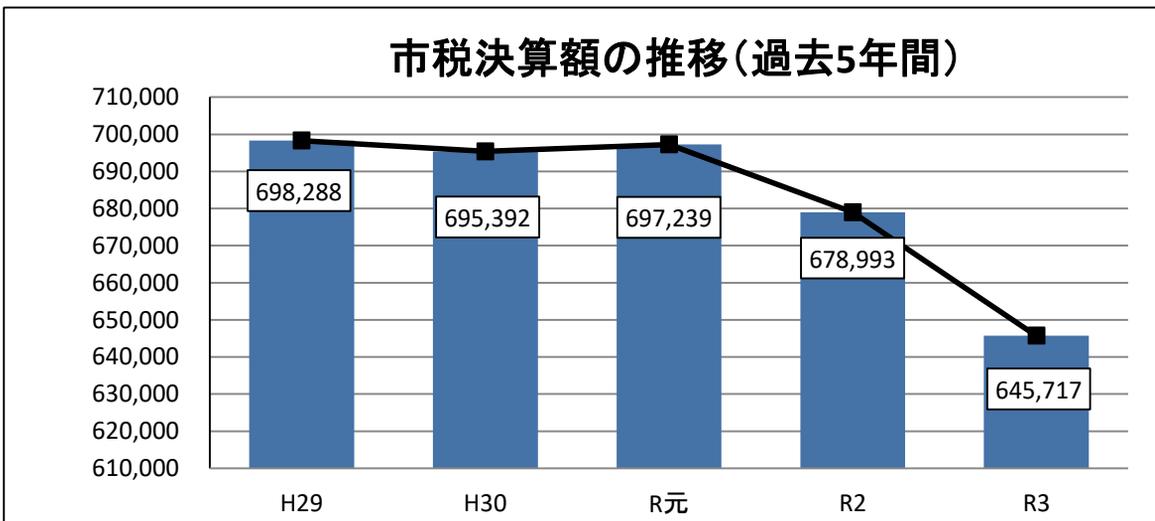
地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

一般会計当初予算額の推移(5年間)



令和5年度の一般会計当初予算は218億円で、令和4年度予算に比べて16億1,000万円の増となりました。

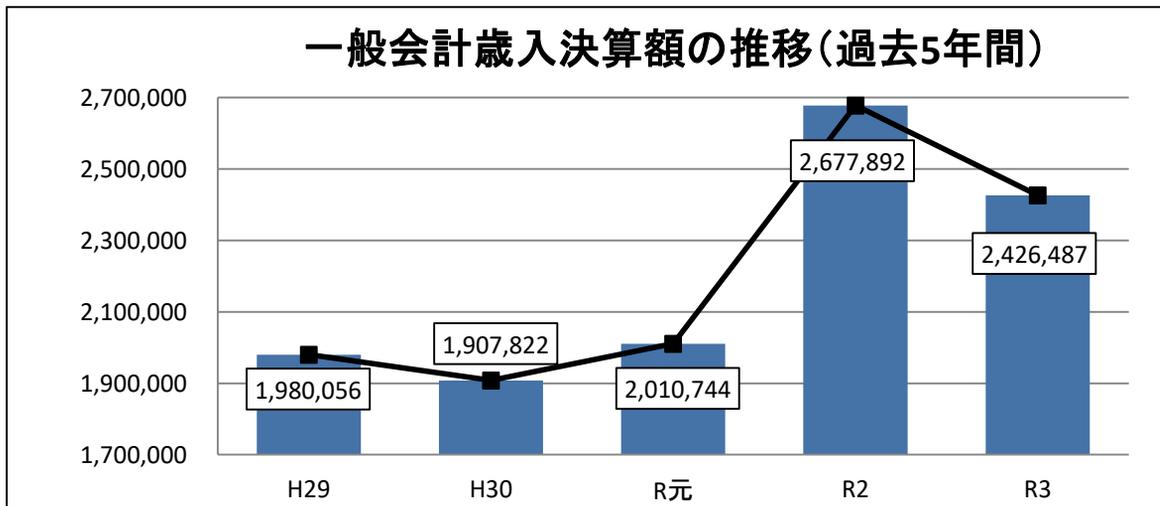
市税決算額の推移(過去5年間)



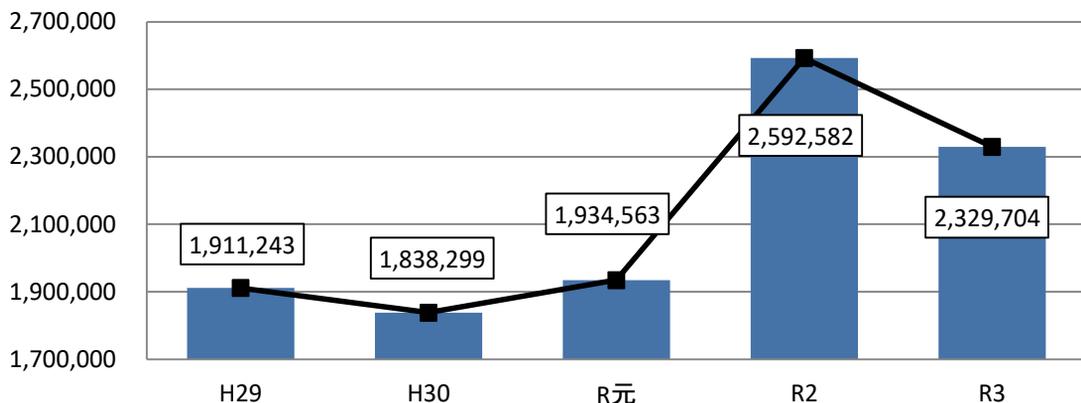
市民のみなさまや事業所などから納められた市税収入の推移です。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、個人市民税が減収となるなど、市税収入全体では前年度決算額に比べて約3億3,000万円の減となりました。

一般会計歳入決算額の推移(過去5年間)



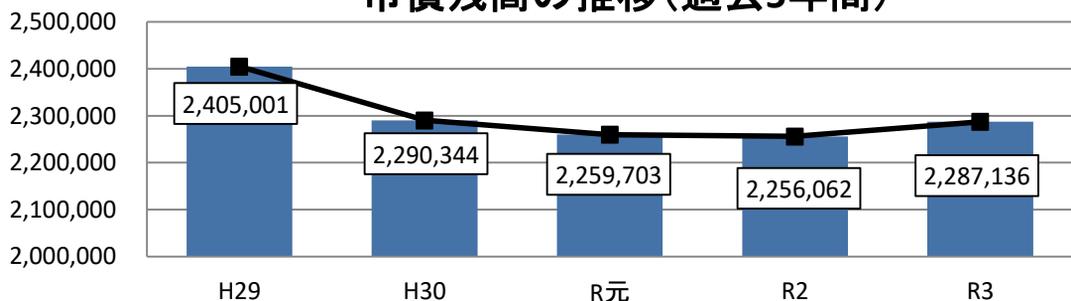
一般会計歳出決算額の推移(過去5年間)



その年度の市の収入である歳入と支出である歳出に分けて計画を立てたものが「予算」ですが、年度が終わったあとに、その年度途中の補正予算を含め、どのような収入があって、どのようなことにどのくらいのお金が使われたかを結果として示すものが「決算」です。

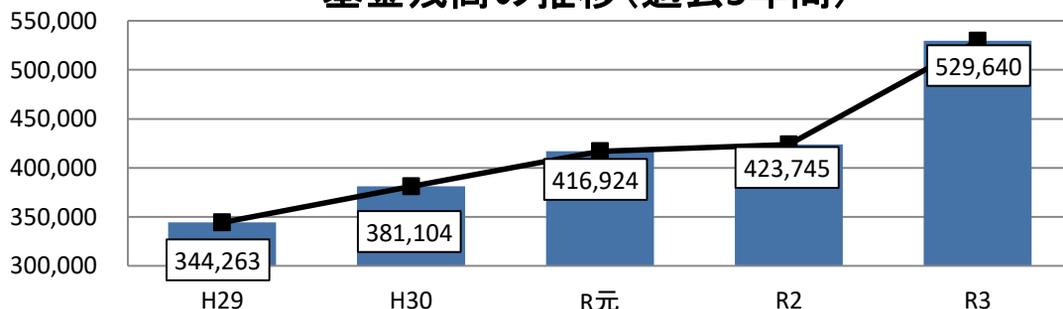
令和3年度は、災害復旧や感染症対策に係る経費が増加しましたが、国・県等の補助制度や市債などの特定財源を有効に活用し、積極的な事業を展開した結果、翌年度への繰り越しを除く実質収支では7億6,950万円の黒字決算となりました。

市債残高の推移(過去5年間)



市の借金である市債の残高の推移です。近年、減少傾向が続いていましたが、令和3年度は、令和3年8月豪雨災害に係る災害復旧事業等により償還額を上回る借入を行った結果、年度末市債残高は前年度比3億1,000万円の増となっています。今後も引き続き、将来世代に対し過度な負担となることがないように、これまで実施してきましたキャップ制による市債残高の抑制を原則とし、市債の適正な発行と管理に努めていきます。

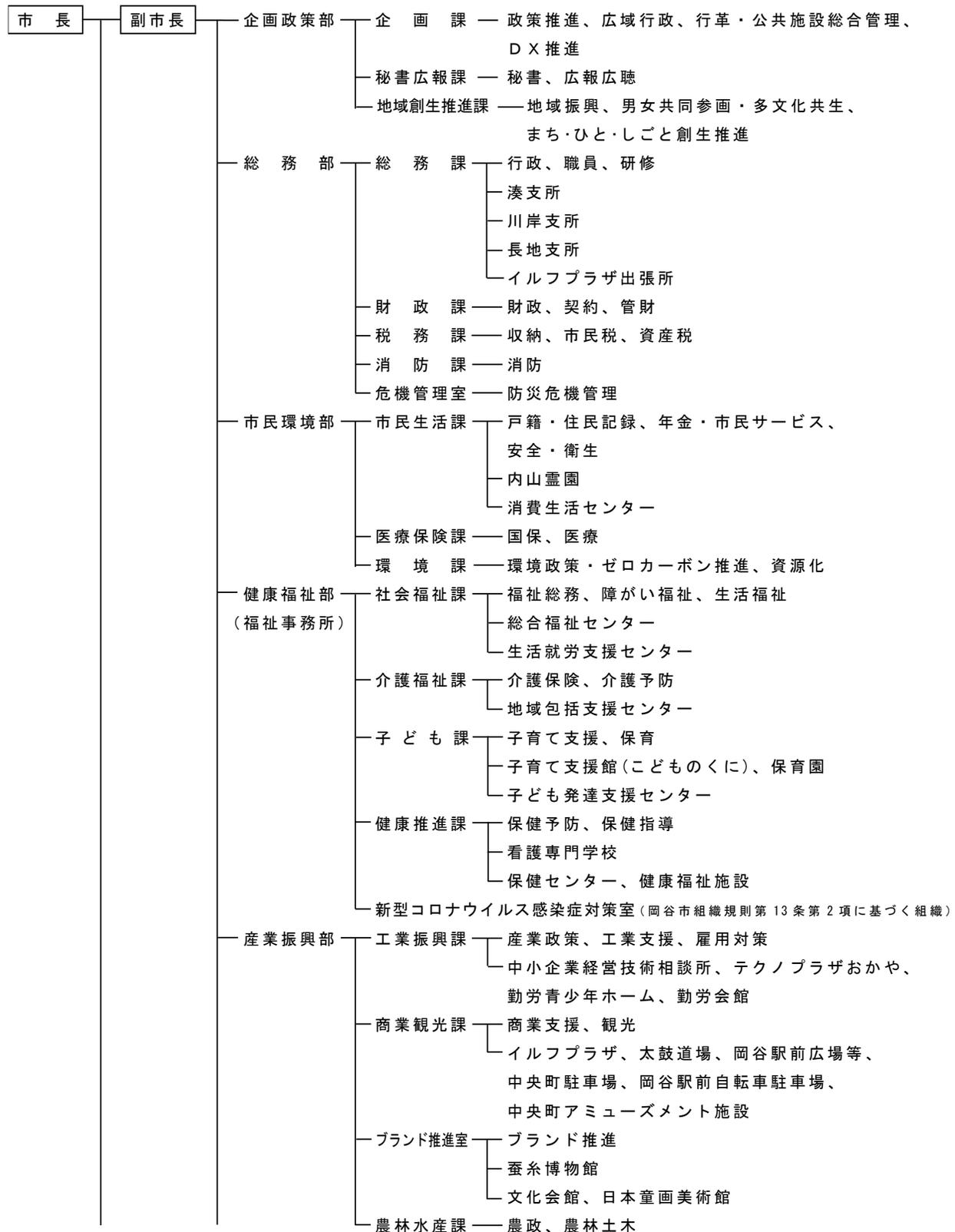
基金残高の推移(過去5年間)

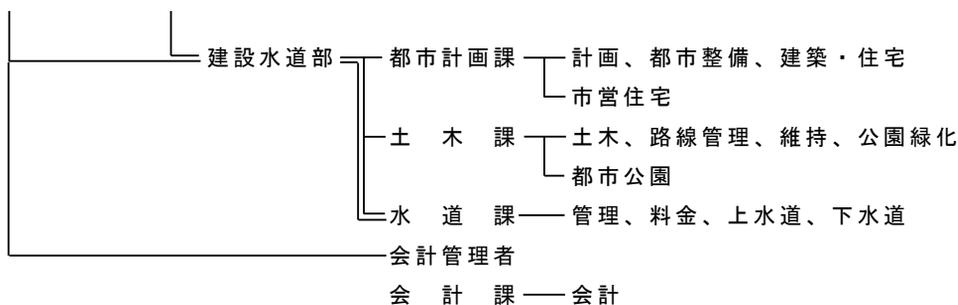


市の貯金である基金の残高の推移です。平成27年度以降は、ふるさと納税による寄附金の増などにより増加傾向となっています。令和3年度は予定していた基金からの繰入を抑制しつつ、財政調整基金・減債基金への積立を実施しました。今後も基金に頼らない財政構造への転換を図るとともに、基金の積み増しを計画的に行っていきます。

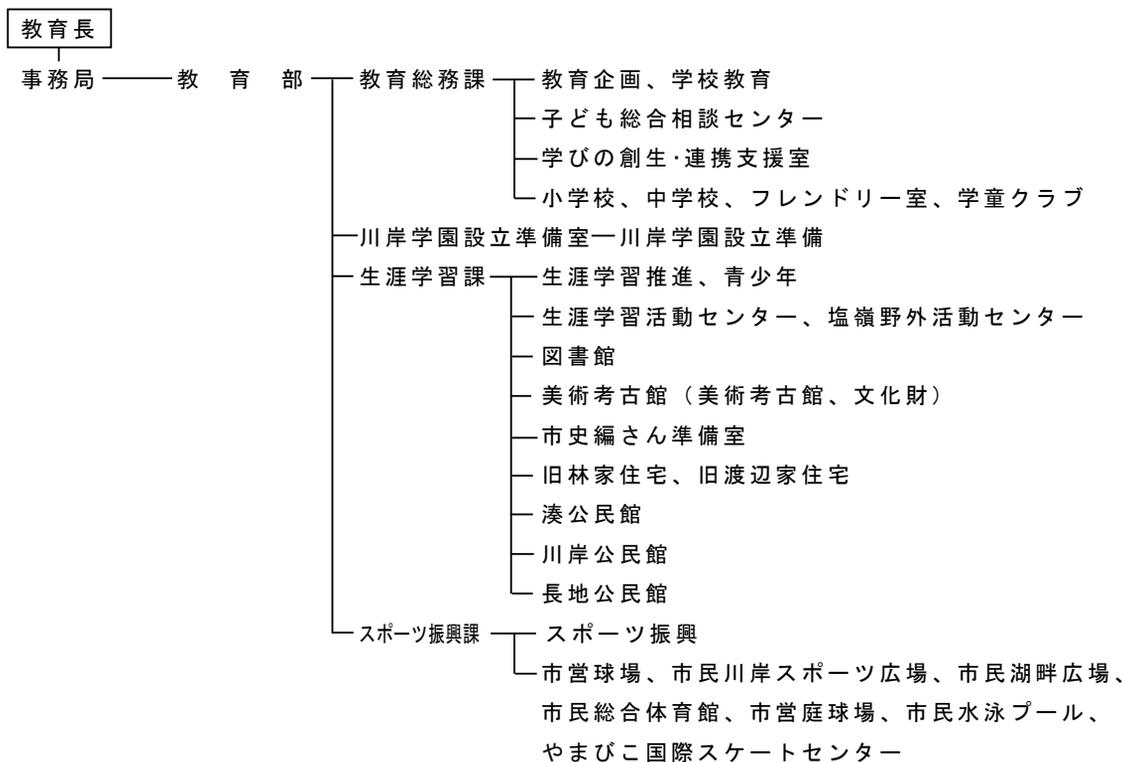
令和5年度 岡谷市組織図

R5. 4. 1





教育委員会



- 選挙管理委員会 ————— 事務局
- 監査委員 ————— 事務局
- 公平委員会 ————— 事務局
- 農業委員会 ————— 事務局 ——— 農地
- 固定資産評価審査委員会 ——— 事務局
- 議会 ————— 事務局 ——— 庶務、議事



作成：岡谷市総務部財政課

ご意見等ありましたら、お寄せください。

電話 0266-23-4811

FAX 0266-24-0689

E-mail zaisei@city.okaya.lg.jp